

第 72 回構造工学シンポジウム プログラム

本シンポジウムは、構造工学論文集 Vol.72A および B への掲載論文・報告・総説を中心としたシンポジウムを開催することによって、産・官・学、各界の研究者・技術者に学术交流・技術交流の場を提供し、構造工学の一層の発展を目的としたものです。土木部門と建築部門それぞれの一般講演のほか、特別講演および土木・建築合同のパネルディスカッションを実施します。

1. 主催 日本学術会議 土木工学・建築学委員会
2. 共催 公益社団法人土木学会、一般社団法人日本建築学会
3. 開催日 2026 年 4 月 11 日（土）～12 日（日）
4. 会場 宇都宮大学 陽東キャンパス（対面開催予定）
5. 参加費 無料、参加自由

6. 開会式

日時：2026 年 4 月 11 日（土）15:00～15:10

会場：宇都宮大学 陽東キャンパス 10 号館 1 階アカデミアホール

挨拶：佐々木 葉（日本学術会議土木工学・建築学委員会副委員長／早稲田大学理工学術院教授／前 土木学会会長）
米田 雅子（防災学術連携体代表理事／宇都宮大学理事／前 日本学術会議土木工学・建築学委員会委員長）

司会：永野 正行（日本建築学会構造工学論文集編集小委員会主査／東京理科大学創域理工学部教授）

7. 特別講演会

「能登半島地震・豪雨災害の教訓に基づく広域地域災害への備え」

日時：2026 年 4 月 11 日（土）15:10～16:10

会場：宇都宮大学 陽東キャンパス 10 号館 1 階アカデミアホール

講師：竹内 徹（日本学術会議土木工学・建築学委員会委員長／東京科学大学名誉教授／前 日本建築学会会長）

司会：永野 正行（前掲）

8. 土木・建築合同パネルディスカッション

「地域防災に貢献する構造工学」

日時：2026 年 4 月 11 日（土）16:15～17:45

会場：宇都宮大学 陽東キャンパス 10 号館 1 階アカデミアホール

主旨説明：永野 正行（前掲）

〔主旨〕

本シンポジウムでは、査読付き論文集「構造工学論文集」の掲載論文の研究発表や、建築・土木両分野にまたがる共通課題について相互理解を深めるための特別講演やパネルディスカッションを行い、産官学を横断した各界の研究者や技術者に学術・技術交流の場を提供し、もって構造工学分野の一層の発展を図ることを目的として開催する。

第 72 回目となる今回のシンポジウムは宇都宮大学で開催され、2019 年以来 6 年振りに東京以外での開催となる。栃木県は 2011 年東北地方太平洋沖地震、2015 年豪雨による鬼怒川氾濫などの自然災害を経験している。また、宇都宮大学では防災に関わる教育・研究・地域連携を総合的に推進する地域防災に力を入れている。

このような点から、今回は「構造工学の視点から考える地域防災」をテーマとして、特別講演とパネルディスカッションを企画した。特別講演ではまず、能登半島地震・豪雨災害の教訓に基づく広域地域災害への備えに関し、日本学術会議での議論を紹介する。その後のパネルディスカッションでは、2024 年能登半島地震等の事例を踏まえ、地域防災さらには広域の防災・

減災対策を建築構造，土木構造を対象とした構造工学の視点から振り返り，地方だけではなく首都圏等における今後の防災・減災に関わる技術を議論する。

パネリストおよび講演：

「2024年能登半島地震等における建物被害」

荒木 康弘（国土技術政策総合研究所住宅研究部住宅生産研究室室長）

「大都市圏フリンジにおけるコミュニティと地域防災」

石井 大一郎（宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科地域デザインセンター地域防災部門長）

「災害時の線状インフラの機能を再考する」

鎌田 泰子（神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻教授）

「橋は地域の生命線-地震後に“使える”構造をめざして」

藤倉 修一（宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科教授）

司会： 山本 憲司（日本建築学会構造工学論文編集小委員会幹事／東海大学建築都市学部建築学科教授）

田井 政行（土木学会構造工学論文編集小委員会幹事長／摂南大学理工学部都市環境工学科准教授）

9. 一般講演

日時：2026年4月11日（土）10:15～14:30

日時：2026年4月12日（日）09:00～12:30

会場：宇都宮大学 陽東キャンパス 8号館

詳細は次ページ以降の一般講演プログラムをご確認ください。

10. CPD実績登録申請

【土木部門】

本シンポジウムは土木学会 CPD プログラムに認定されています。詳細は、[構造工学論文集ホームページ](#)をご確認下さい。

【建築部門】

本シンポジウムは建築 CPD 情報提供制度の認定プログラムです。CPD 実績登録申請を希望される方は、当日中に建築部門受付の登録申請名簿にご記名ください。

11. 問い合わせ先

【土木部門】

- ・ 発表方法，論文集，プログラム等に関するお問合せ

構造工学論文集 Vol.72A 編集小委員会幹事団

E-mail：struct-eng@ml-jsce.jp

※開催期間中の緊急連絡も上記へお願いいたします。

- ・ 参加申込，CPD 等に関するお問合せ

土木学会研究事業課 岡崎 寛輝

E-mail：okazaki@jsce.or.jp

【建築部門】

- ・ 論文集，シンポジウム全般に関するお問合せ

日本建築学会事務局 加藤 千尋

E-mail：kozokogaku@aij.or.jp

※開催期間中の緊急連絡も上記へお願いいたします。

第 7 2 回構造工学シンポジウム（土木部門セッション・合同セッション）プログラム

	土木第 1 会場 8 2 2 室	土木第 2 会場 8 2 3 室	土木第 3 会場 8 2 5 室	土木第 4 会場 アカデミアホール	建築第 2 会場 8 2 4 室
4 月 11 日 (土)	構造安定・耐荷力・ 構造一般・設計工 学・計算力学 (1) 10:15~11:45 座長：北根安雄 (京都大学)	衝撃・衝突・爆発 (1) 10:15~11:45 座長：栗橋祐介 (金沢大学)	鋼構造・橋 (1) 10:15~11:45 座長：判治剛 (名古屋大学)	構造動力学・振動・ 風工学 (1) 10:45~11:45 座長：宮森保紀 (北海道大学)	
	休憩 11:45~13:00				
	構造安定・耐荷力・ 構造一般・設計工 学・計算力学 (2) 13:00~14:30 座長：堤成一郎 (大阪大学)	衝撃・衝突・爆発 (2) 13:00~14:30 座長：市野宏嘉 (防衛大学校)	鋼構造・橋 (2) 13:00~14:30 座長：清川昇悟 (横河ブリッジホ ールディングス)	構造動力学・振動・ 風工学 (2) 13:00~14:00 座長： 野田稔 (徳島大学)	【合同セッション1】 3Dプリント技 術・繊維補強・構 造力学 13:00~14:30 座長：谷口望 (日本大学)
	【アカデミアホール】開会式 15:00~15:10				
	【アカデミアホール】特別講演会 15:10~16:10				
【アカデミアホール】土木・建築合同パネルディスカッション 16:15~17:45					
4 月 12 日 (日)	コンクリート構造・ 合成・複合/木構 造・橋 (1) 9:15~10:45 座長：藤山知加子 (横浜国立大学)	地震工学・構造物の 耐震9:30~10:45 座長：豊岡亮洋 (鉄道総合技術研究 所)	鋼構造・橋 (3) 9:15~10:45 座長：服部雅史 (中日本高速道路 株式会社)		【建築部門】 木質構造 9:00~10:30 座長：森拓郎 (広島大学)
	コンクリート構造・ 合成・複合/木構 造・橋 (2) 11:00~12:15 座長：三木朋広 (神戸大学)	緊急仮設橋 11:00~12:00 座長：中村聖三 (長崎大学)			【合同セッション2】 振動・空間 11:00~12:30 座長：藤田香織 (東京大学)

講演 1 件当たり，発表 10 分，質疑 5 分の計 15 分

若手構造技術者連絡小委員会ポスターセッション「次世代構造技術者の Work in Progress」

【日時】4 月 11 日 11 時 45 分~15 時 00 分

4 月 12 日 10 時 45 分~12 時 30 分

【場所】8 号館 1 階エントランスラウンジ

第 1 日：4 月 1 1 日（土） ○は講演予定者を示す。

土木第 1 会場：8 2 2 講義室

10:15~11:45 構造安定・耐荷力・構造一般・設計工学・計算力学(1) 座長：北根安雄（京都大学）

(1) SBHS による鋼十字断面柱に対する熱履歴付与および単調圧縮載荷実験

○廣畑幹人，マグリカマーティン，浜田文斗，蔣鋒

(2) 落橋防止用補剛連結板の破断モード制御に関する解析的研究

○近藤諒一，杉浦侑佳，葛漢彬

(3) サイドブロックに用いる長締め接合ボルトの曲げ・せん断複合作用下における力学特性に関する実験的研究

大原拓馬，○渡部慎也，松村政秀

(4) 繰り返し超過地震動を受ける鋼アーチ橋支柱実験と高精度計測技術の応用による再現解析モデルの検討

○橋本尚史，海老澤健正，日高菜緒，馬越一也，岩村真樹，山田忠信

(5) 超過洪水による鈹桁橋梁の流出崩壊メカニズムと数値流体解析(CFD) の検証について

○大谷倭，有尾一郎，井上卓也

(6) 実データに基づく道路橋の耐久性能の定量的評価方法の検討

盛岡諒平，○櫻庭浩樹，横井芳輝，玉越隆史，澤田守

13:00~14:30 構造安定・耐荷力・構造一般・設計工学・計算力学(2) 座長：堤成一郎（大阪大学）

(1) 圧縮力を受ける高力ボルト摩擦接合された 2 面添接ガセットプレートの簡易解析モデルの検討

○橋本国太郎，中西遼磨

(2) Mid-span deflection estimation of simply supported bridges using slopes at end supports

○Phyoe W. Hein, Kunitomo Sugiura, Yasuo Kitane, Yoshinao Goi, Kazuo Takase, Shigeyuki Tanaka

(3) 構造ヘルスマニタリングと技術者判断を融合した意思決定枠組みの構築

○阿久津慶，王志豪，金哲佑，河邊大剛

(4) オホーツク地域の自治体における橋梁の部材の損傷に影響を与える気象・地理的要因の検討

○大内晴貴，宮森保紀，齊藤剛彦，門田峰典，北原優，藤森智也，三上修一

(5) 展開可能なシザーズ FEM における OC 法と SA 法のハイブリッド最適化

○伊集院治輝，吉田啓悟，有尾一郎

(6) 砂利をモルタルで部分的に固結したコンクリートの力学特性および応力伝達機構の考察

○藤山知加子，仙頭紀明，子田康弘

第 1 日：4 月 1 1 日（土） ○は講演予定者を，*は報告を示す。

土木第 2 会場：8 2 3 講義室

10:15～11:45 衝撃・衝突・爆発(1)

座長：栗橋祐介（金沢大学）

(1) *真珠層を模倣した複合材に対する内部爆発実験

○市野宏嘉，林泰成，別府万寿博，原口望

(2) 近接爆発を受ける鋼板たわみの簡易評価法の提案およびハニカムパネルの緩衝効果に関する基礎的考察

○別府万寿博，郷原将哉，市野宏嘉

(3) 接触爆発を受ける構造用ケーブルモデルの破壊特性と防護対策に関する研究

○別府万寿博，河内晟己，伊藤二郎，松澤遼，市野宏嘉

(4) 爆風圧および破片衝突を受ける避難施設の損傷評価システムの構築

○別府万寿博，小池めい，東野滉平，市野宏嘉

(5) 飛翔体衝突を受ける地下避難施設の耐衝撃性能評価に向けた解析的基礎検討

○楠田創，松田学，松本康資，園田佳巨

(6) 寒冷地を想定した低温の緩衝ゴム上に一端が自由落下する RC 梁の耐衝撃挙動

○川村真生，瓦井智貴，小室雅人，佐藤京，寺澤貴裕，久慈茂樹，余野智哉，岸徳光

13:00～14:30 衝撃・衝突・爆発(2)

座長：市野宏嘉（防衛大学校）

(1) 縮小模型実験によるケーブル式堰堤の設置条件と自重が張力に与える影響

○宮原邑太，堀口俊行，萬徳昌昭

(2) ひし形金網の有無が従来型落石防護柵の耐衝撃挙動に及ぼす影響

○小室雅人，中村拓郎，瓦井智貴，氏家和広，岸徳光

(3) 流木群に含まれる根付流木が流木捕捉工に与える荷重の影響

○竜川太志，堀口俊行

(4) PC まくらぎの静的および衝撃耐荷性状に関する基礎的研究

○吉田怜治，玉井宏樹，後藤恵一，渡辺勉

(5) PP および PVA 繊維補強セメント複合材料の動的曲げ特性に関する実験的研究

○別府万寿博，岩根利浩，小川敦久，室賀陽一郎，市野宏嘉

(6) 接触爆発を受ける PVA 繊維補強コンクリート板の耐爆性能に関する実験的研究

○別府万寿博，長谷川大，小川敦久，市野宏嘉

第 1 日：4 月 1 2 日（土） ○は講演予定者を，*は報告を示す。

土木第 3 会場：8 2 5 講義室

10:15～11:45 鋼構造・橋(1)

座長：判治剛（名古屋大学）

(1) 2 主桁橋の圧縮フランジの横桁間の横座屈に対する U 形フレームの必要剛度について

○尾下里治，松本健太郎

(2) 地震時水平荷重および活荷重載荷時における端横桁を有する鋼 I 桁橋支点部の耐荷性能

○稲熊真人，門田峰典，宮下剛，野阪克義，海老澤健正，王智連

(3) 横断歩道橋の階段床組みに生じる腐食欠損が当初性能に及ぼす影響

○門田峰典，三ツ木幸子，岩本彩伽

(4) 損傷部の点群データと一般部の寸法情報を用いる統合型の FE モデル構築

○小室翔，宮森保紀，門田峰典，齊藤剛彦，北原優，吉田明輝

(5) Temperature-based evaluation of through truss bridge integrity: a study on thermal effects and damage sensitivity

○Ruobing Sun, Yasuo Kitane, Kunitomo Sugiura

(6) 車線別床版取替工法における縦目地部床版の輪荷重走行試験方法の考案と試験実施

○渡邊輝康，野口利雄，仲野谷渉，三谷和裕，島崎利孝，楨駿介，松井繁之

13:00～14:30 鋼構造・橋(2)

座長：清川昇悟（横河ブリッジホールディングス）

(1) フィラープレートを有する赤さび面における F10TW 長尺ボルト継手のナット回転法の導入軸力試験

○南邦明，横山秀喜，木村健太郎，村上貴紀，利光崇明

(2) 環境配慮型高力ボルトを用いた摩擦接合継手のすべり挙動に関する実験的研究

○木川廉，吉元大介，神野夢希，山口隆司

(3) 高強度スタッドボルト摩擦接合継手のスタッドせん断強度に関する研究

○彭雪，奥村学，山口隆司，姚凌波，仲地健二郎，尾籠秀樹，吉田賢二

(4) *高強度ねじ付きスタッド摩擦接合継手を用いた合成床版の輪荷重走行試験

○奥原大貴，田淵航，平野貴大，秋山達哉，石川誠，段下義典，吉田賢二，山口隆司

(5) 高力ボルト摩擦接合継手の連結板における最外列ボルト周辺の腐食減肉がすべり耐力に及ぼす影響

○山下修平，下里哲弘，玉城喜章，ムムタズヤシン，郎宇

(6) 当て板補修されたストップホールを有する鋼板の分担軸力の推定

○吉田悠真，石川敏之，水谷壮志

第1日：4月11日（土） ○は講演予定者を，*は報告を示す。

土木第4会場：アカデミアホール

10:45～11:45 構造動力学・振動・風工学(1) 座長：宮森保紀（北海道大学）

- (1) 複数バルジングモードを考慮した二槽式タンクの地震時作用動水圧簡易推定
○渡邊尚彦，細野隼佑，青木大祐
- (2) 半円形平面を有するリングガーダー構造を用いた歩道橋の力学特性に関する基礎的研究
○瀧口和也，宮里直也，岡田章，鴛海昂，山崎瑠真
- (3) *振動計測によるアーチ型水管橋の異常検出の有効性
○鈴木崇伸，鉏田泰子
- (4) 塔体加速度応答を用いた送電線の異常振動検知に関する検討
鹿島祥太，○富田知優，栗原幸也，佐伯昌之

13:00～14:00構造動力学・振動・風工学(2) 座長：野田稔（徳島大学）

- (1) *Investigating the effect of crosswind on the aerodynamic stability of motorcycle
○Vu Anh Do, Hiroshi Katsuchi, Jiaqi Wang
- (2) 衝突角に応じた着雪率を考慮した電線着雪の発達形状推定とその空力特性の評価
○松宮央登，垂石早紀，春名健太郎，梶山千穂，張宇卓，野口恭平，佐藤研吾，富樫数馬，
八木知己
- (3) End to end damage detection in cables of cable-stayed bridge using two Principal Component Analysis-based methods
○Haobo Shi, Hiroshi Katsuchi, Jiaqi Wang
- (4) スパイラルロッドによる鋼管鉄塔部材の渦励振対策の最適化に関する検討
○垂石早紀，早田直広，田中恵悟，山崎智之

第 1 日：4 月 1 1 日（土） ○は講演予定者を，*は報告を示す。

建築第 2 会場：8 2 4 講義室

13:00~14:30 3D プリント技術・繊維補強・構造力学【土木・建築合同セッション 1】

座長：谷口望（日本大学）

(1) 常用荷重の繰返しによる 3D プリント PA12 樹脂造形物の粘弾性特性の変化【建築】

○桑村仁

(2) 3D コンクリートプリンティングにおける材料不均質性が積層体の力学特性に与える影響の解析的評価【土木】

○吉原伶，橋本勝文

(3) 応答解析手法による風応答特性【建築】

○金容徹，扇谷匠己，北原史也，岡崎充隆

(4) 開口部を有する建築物に作用する津波荷重と津波入射角の関係【建築】

○高橋伽羅，小幡昭彦，寺本尚史，高館祐貴，丁威

(5) 端部テーパを有する CFRP 成形材を用いた鋼軸力部材の補強に関する理論解析および接着長さ【土木】

○櫻井俊太，秀熊佑哉，大垣賀津雄，宮下剛，奥井義昭

(6) *プラズマ処理した補強用熱可塑性 CFRP シートを用いた RC 部材のせん断補強効果に関する実験的検討【土木】

○吉本智咲，和田倫明，栗橋祐介，柳田龍平

第 2 日：4 月 1 2 日（日） ○は講演予定者を，*は報告を示す。

土木第 1 会場：8 2 2 講義室

9:15~10:45 コンクリート構造・合成・複合／木構造・橋(1) 座長：藤山知加子（横浜国立大学）

(1) 熱履歴を受けた合成桁の疲労挙動に関する実験的研究

○吉田拓人，岡田洸，高橋佑介，今川雄亮，大山理

(2) *Experimental study on expansive behavior of static disintegrator for fabricating bond anchoring devices for CFRTP rods

○Hosaka Ventura, Yuuki Alejandro, Miyazato Shinichi

(3) Connection capacity of the headed stud joint connection in steel-concrete composite-reinforced concrete hybrid girder

○Chamara Sandaruwan Upul Kumarage, Takeshi Maki

(4) 炭素繊維シート補強コンクリート梁に対する打音データと畳み込みオートエンコーダを用いた非破壊損傷評価

○西敏臣，路馳，笹堂泰希，園田佳巨

(5) 転移学習を適用した RC 梁の損傷判定におけるアンサンブル学習導入による判定性能向上

○イン ヴィラパンニャー，黒田一郎

(6) 打音を用いた表面塗装 RC 供試体の欠陥判定における陽性データ混入と局所外れ値因子法の学習手法の検討

○鈴木大地，黒田一郎

11:00~12:15 コンクリート構造・合成・複合／木構造・橋(2) 座長：三木朋広（神戸大学）

(1) デジタル画像相関法を用いたディープビームにおける圧縮ストラットの形成および破壊過程の可視化

○子田康弘，八木智之

(2) あき重ね継手を有する RC はりの耐荷性能に及ぼす継手部の横方向鉄筋の影響

○伊谷玲伽，栗橋祐介，根岸愛生

(3) 面外荷重が作用する RC 床版の上段鉄筋の振る舞いに関する解析的研究

○横山広，曳野誠也，赤松賢尚，栗橋祐介

(4) 長期供用および劣化損傷が PC 柱の構造性能に与える影響に関する研究

○上野貴行，玉井宏樹，岩永莉子，春口雅寛，池田博嗣，平野直人

(5) コンクリート中の鋼材を長手方向に伝搬する弾性波のモデル化と実験的検証

中畑和之，和田啓志，清水鏡介，○丸山泰蔵

第 2 日：4 月 1 2 日（日） ○は講演予定者を，*は報告を，**は委員会報告を示す。

土木第 2 会場：8 2 3 講義室

9:30~10:45 地震工学・構造物の耐震

座長：豊岡亮洋（鉄道総合技術研究所）

(1) *橋梁用積層ゴム支承材料のオゾン亀裂状態に関する評価基準定量化の基礎的検討

○久慈茂樹，近藤寛朗，松本高志，今井隆

(2) ゴム支承表面に生じるひずみ分布の実験的研究

○太田優衣奈，永田和寿，小高大傑，松下哲也，渡邊幸太，出原航太，岩本朋久，清水勝利，仲市真吾，杉浦邦征，北根安雄

(3) 上揚力抵抗機構を有する 2 方向すべり支承の開発

○金澤高宏，篠原聖二，曾我恭匡，篠田隆作，姫野岳彦，高畦武志，森屋圭浩，榎本照久，長山祐樹，高橋良和

(4) ステンレス鋼製矩形水槽のバルジング振動解析時に設定される諸条件の影響評価

○青木大祐，坂剛至，林健太郎，小野祐輔，鈴木森晶

(5) 水管橋上部工用ベローズ型伸縮可撓継手の地震時大振幅変位に対応する極低サイクル疲労特性

○西勇也，金丸佑樹，小池武，鋏田泰子

11:00~12:00 緊急架設橋

座長：中村聖三（長崎大学）

(1) **急速架設可能な緊急仮設橋の構造と管理方法の提案

平池勉，佐々木貴信，富岡仁計，本田修一，近広雄希，渡部慎也，渡辺浩，平沢秀之，○森田千尋

(2) **緊急仮設橋の利活用促進に向けた運用課題の整理と提案

○近広雄希，小野秀一，渡部慎也，松田伊佐雄，富岡仁計，蔵園和人

(3) **恒久利用されてきた仮設橋の車両通行時の加速度応答を基にしたたわみ計測による耐荷力評価

木下幸治，○目崎裕太，本田修一，松田伊佐雄，渡邊学歩

(4) **3D 河川点群データおよび BIM/CIM を活用した自治体の緊急仮設橋意思決定支援フレームワークの提案

○渡邊学歩，木下幸治，松田伊佐雄

第 2 日：4 月 1 2 日（日） ○は講演予定者を，*は報告を示す．

土木第 3 会場：8 2 5 講義室

9:15~10:45 鋼構造・橋(3)

座長：服部雅史（中日本高速道路株式会社）

(1) *角溶接部の諸元分析に基づく既設鋼製橋脚における低サイクル疲労き裂発生挙動の推定

○真木有岳，川東龍則，岩崎雅紀

(2) IoT データロガーを用いた鋼鉄道橋箱桁の疲労き裂モニタリング

○山口真，石川敏之，内田純平

(3) 荷重伝達型十字溶接継手の回し溶接部におけるグラインダー処理の疲労強度向上効果

○吉田善紀，内田大介，杉山拓也，小林裕介，豊原匡織，櫛谷拓馬

(4) ソールプレート溶接部のルートき裂に対する ICR 処理の効果

○馬光恩，石川敏之

(5) 鋼床版垂直補剛材上端への切欠きの施工による応力低減効果の簡易推定

○清水優，館石和雄，判治剛，末次宏基，長谷川秀也

(6) 鋼床版横リブ交差部のデッキ進展き裂に対する局部応力に基づく疲労強度評価と構造詳細の影響に関する検討

○鈴木翔馬，Mark Joel Bañares Uaje，村越潤

第 2 日：4 月 1 2 日（日） ○は講演予定者を示す.

建築第 2 会場：8 2 4 講義室

11:00~12:30 振動・空間【土木・建築合同セッション 2】 座長：藤田香織（東京大学）

(1) プレテンションが与えられたばねを用いた双方向非線形エネルギーシンク【建築】

○和田大河，小檜山雅之

(2) プレストレスを減少させた PC 桁の振動特性に関する基礎的検討【土木】

○片岡渉，宮森保紀，門田峰典，齊藤剛彦，広野邦彦，藤原啓隆，吉岡憲一，齋藤裕俊

(3) 異なる展開角を有するシザーズ橋の梁近似モデルに基づく鉛直固有振動数の推定【土木】

○遠藤名和宏，近広雄希

(4) シザーズ構造を用いた折畳みパネル橋の提案とその基礎力学特性【土木】

○田中翔也，近広雄希，大野紅実

(5) 張弦トラス構造の中間接合金具部におけるケーブルの滑動が構造挙動に及ぼす影響に関する研究

【建築】

○小櫃汐音，宮里直也，岡田章，鴛海昂，設樂源太

(6) Fundamental research on active seismic isolation with proportional negative stiffness damper【建築】

○Jiaji Liu, Hideto Kanno

シンポジウム会場

・会場は宇都宮大学 陽東（ようとう）キャンパスです。

宇都宮大学 陽東キャンパス
栃木県宇都宮市陽東 7-1-2

〈JR 宇都宮駅からの交通のご案内〉

LRT :

宇都宮駅東口～宇都宮大学陽東キャンパス
乗車約 10 分，下車後正門まで徒歩 9 分

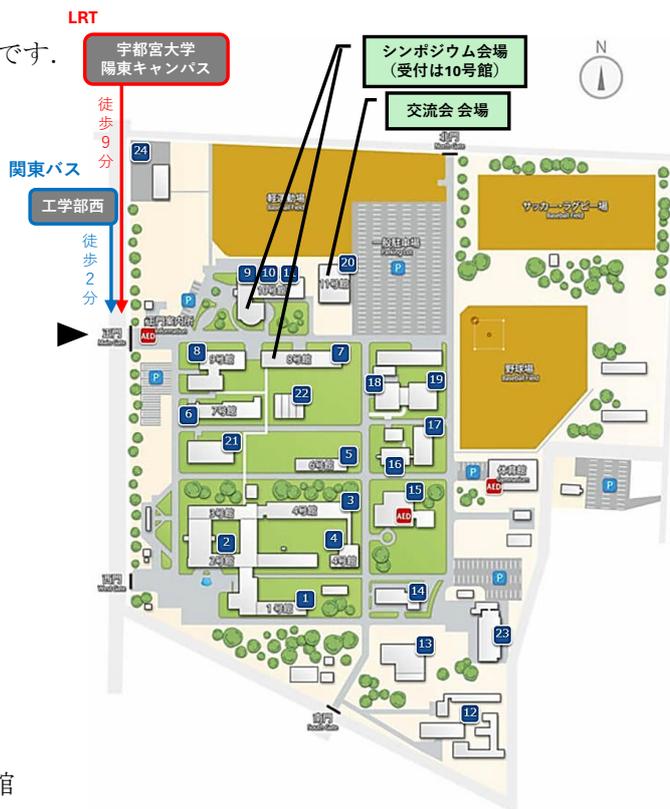
[ダイヤ \(4 月 1 日改正\)](#)

関東バス ベルモール行 (3 番乗り場)

宇都宮駅東口～工学部西

乗車約 10 分，下車後正門まで徒歩 2 分

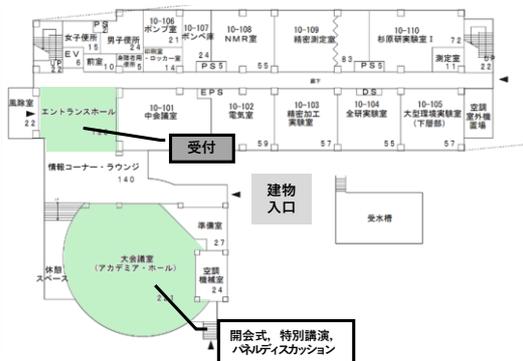
[ダイヤ](#)



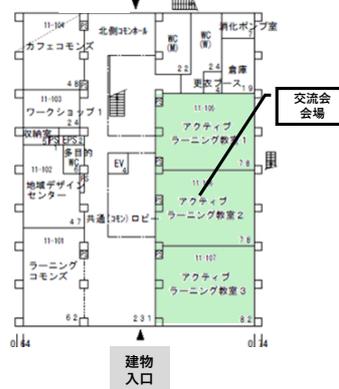
会場案内図

陽東キャンパス 10 号館 (**受付**), 8 号館, 11 号館

10号館 1F



11号館 1F



8号館 2F



1F



〈昼食について〉

- ・徒歩 10 分圏内の商業施設ベルモールに複数の飲食店がございます。
- ・大学周辺にコンビニエンスストアがあり，会場で昼食をおとりいただくことも可能です。